

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ブラジル株式ツインαファンド（毎月分配型）ツインα・コース」は、第58期から第63期の決算を行いました。

当ファンドは外国投資信託証券「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）」を通じて、米ドル建てブラジル株式上場投資信託証券（ETF）とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を実質的に構築し、安定した配当収入およびオプションプレミアムの確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。加えて、米ドル（対円レート）の為替変動とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略の投資成果の享受を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

ブラジル株式ツインαファンド （毎月分配型） ツインα・コース

商品分類（追加型投信／海外／株式）

第11作成期

第58期（2019年11月25日） 第61期（2020年2月25日）
第59期（2019年12月25日） 第62期（2020年3月25日）
第60期（2020年1月27日） 第63期（2020年4月27日）
作成対象期間：2019年10月26日～2020年4月27日

第63期末（2020年4月27日）	
基準価額	489円
純資産総額	11,304百万円
第58期～第63期	
騰落率	△44.8%
分配金合計	240円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

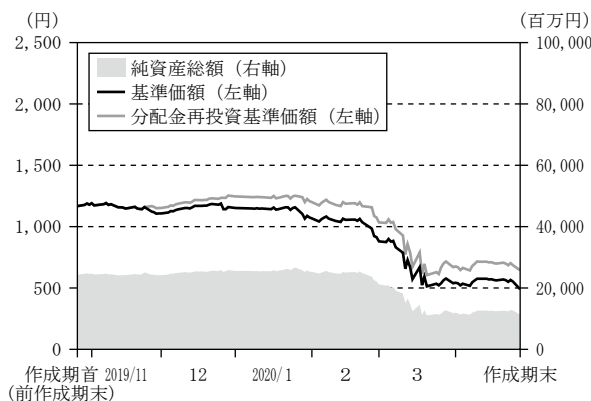
投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



第58期首：1,167円

第63期末：489円（既払分配金240円）

騰落率：△44.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れているクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、ブラジル株式（米ドル建てETF）などがマイナス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	△46.5%
マネープールマザーファンド	△0.0

1 万口当たりの費用明細

項目	第58期～第63期		項目の概要
	2019/10/26～2020/4/27		
	金額	比率	
平均基準価額	989円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	7円	0.739%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	（ 3 ）	（0.278）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 4 ）	（0.445）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 0 ）	（0.017）	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.046	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数
（投資信託証券）	（ 0 ）	（0.046）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.007	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	（ 0 ）	（0.007）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 0 ）	（0.000）	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	7	0.792	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

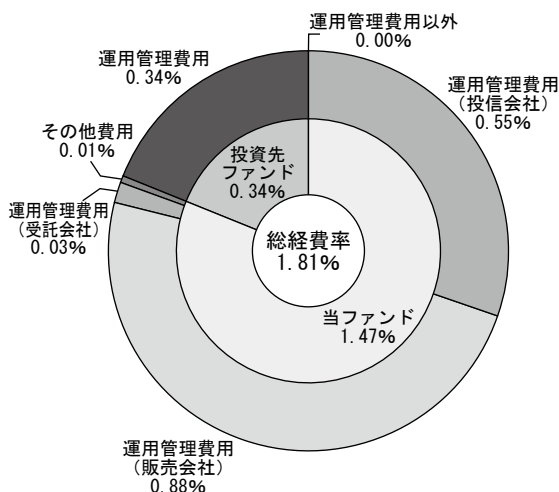
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、1.81%です。



総経費率 (①+②+③)	1.81%
①当ファンドの費用の比率	1.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は年率換算した値です。

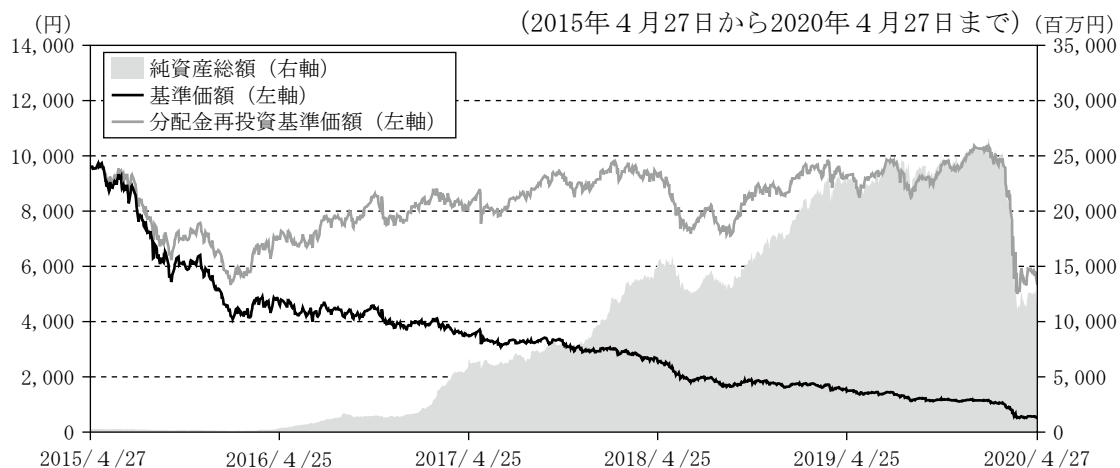
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年4月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年4月27日 期初	2016年4月25日 決算日	2017年4月25日 決算日	2018年4月25日 決算日	2019年4月25日 決算日	2020年4月27日 決算日
基準価額（分配落）（円）	9,640	4,635	3,489	2,538	1,475	489
期間分配金合計（税込み）（円）	—	2,400	1,830	1,320	940	610
分配金再投資基準価額の騰落率（％）	—	△ 27.0	17.6	12.0	△ 1.3	△ 41.7
純資産総額（百万円）	288	345	6,491	15,120	22,332	11,304

(注) 当ファンドはブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■ ブラジル株式市況

ブラジル株式市場は下落しました。2019年11月、汚職で有罪判決を受けたルラ元大統領が釈放され、政局が混乱するとの懸念が台頭したことなどから株価は下落しました。12月には、ブラジルの7－9月期GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回る伸びを示したことや、ブラジル中央銀行による利下げの決定、米中貿易協議が第一段階での合意に達したことなどが好感され株価は上昇しました。また、パウロ財務相が国営企業の民営化や税制改革の実施を発表したことなども好材料となって、ブラジルの主要株価指数であるボブスペ指数が史上最高値を更新する展開となりました。しかし2020年1月には、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大を背景に投資家がリスク回避姿勢を強めたことで株価は下落しました。その後も、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続き、事態の深刻化や長期化が意識されるなか世界経済に及ぼす悪影響への警戒感が強まり、株価は大幅下落する展開となりました。

■ 為替市況

円・米ドル相場は円高米ドル安となりました。作成期初から2020年1月中旬にかけては、米国の経済指標の悪化や中東情勢の不透明感などが米ドルの売り材料となった一方、米中貿易協議の進展や米国株式市場の堅調さなどが買い材料となって、米ドルは円に対し一進一退する展開となりました。1月下旬には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどから米ドルは円に対し下落しました。その後は、中国による景気刺激策の実施見通しを背景に過度なリスク回避の動きが後退したことや、米国の経済指標が市場予想を上回ったこと、米国の景気刺激策への期待感などから米ドルは円に対し上昇する局面もありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす悪影響が警戒されるなか、米ドルは円に対し上値の重い展開となりました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.22\%$ から作成期末は $\Delta 0.15\%$ となりました。作成期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

作成期を通じて、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

■ クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建て E T F）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

■ マネープールマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は 0 % としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1 万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第58期から第61期まで各45円、第62期から第63期は各30円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1 万口当たり・税引前）

項目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2019年10月26日 ～2019年11月25日	2019年11月26日 ～2019年12月25日	2019年12月26日 ～2020年1月27日	2020年1月28日 ～2020年2月25日	2020年2月26日 ～2020年3月25日	2020年3月26日 ～2020年4月27日
当期分配金	45	45	45	45	30	30
（対基準価額比率）	3.856	3.788	3.920	4.373	5.282	5.780
当期の収益	42	41	40	42	30	27
当期の収益以外	2	3	4	2	—	2
翌期繰越分配対象額	991	990	988	986	1,000	1,000

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

■ 当ファンド

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

■ クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50％程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金＋ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアム＋米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

■ マネープールマザーファンド

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

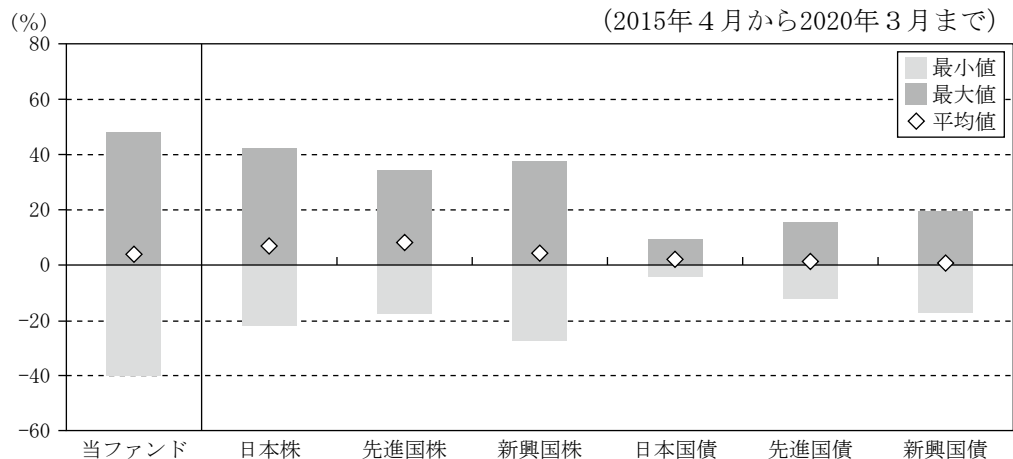
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当 該 投 資 信 託 の 概 要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2014年12月19日から2022年12月26日まで	
運 用 方 針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主 要 運 用 対 象	円建ての外国投資信託証券であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）および国内の証券投資信託であるマネープールマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ M S C I ブラジル E T F とブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マ ネ ー プ ー ル マ ザ ー フ ァ ン ド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

【 参 考 情 報 】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国国債
平均値	3.8	6.8	8.0	4.2	2.0	1.2	0.6
最大値	47.8	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△39.9	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

(注) 上記は、2015年4月から2020年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 当ファンドは2014年12月19日に設定されたため、2015年12月以降のデータをもとに表示しております。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

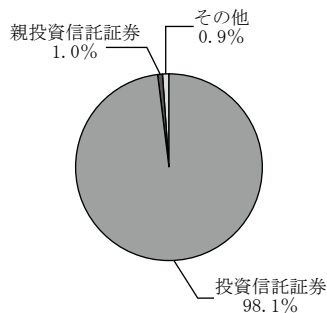
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

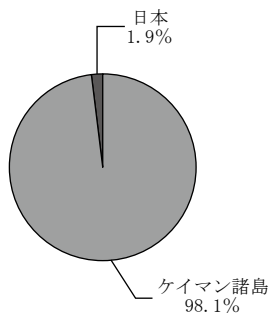
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	第63期末
	2020年4月27日
	比率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式 アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	98.1%
マネープールマザーファンド	1.0
その他	0.9

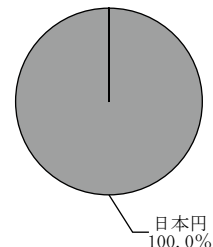
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



（注）組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

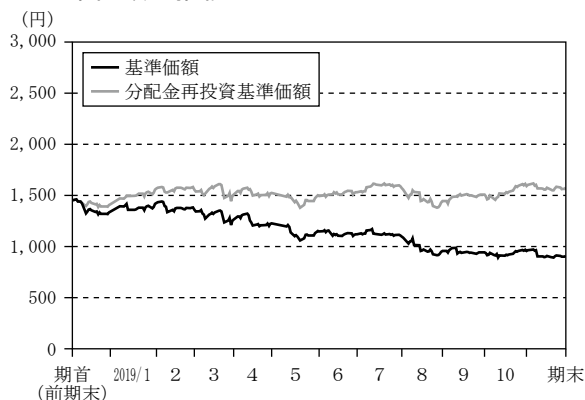
項目	第58期末	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末
	2019年11月25日	2019年12月25日	2020年1月27日	2020年2月25日	2020年3月25日	2020年4月27日
純資産総額	24,328,253,198円	25,255,608,205円	25,795,209,540円	23,663,188,986円	11,621,727,423円	11,304,424,549円
受益権総口数	216,805,729,164口	221,046,228,525口	233,800,581,975口	240,520,374,175口	216,032,516,838口	230,991,148,938口
1万口当たり基準価額	1,122円	1,143円	1,103円	984円	538円	489円

（注）当作成期間（第58期～第63期）中における追加設定元本額は124,292,242,232円、同解約元本額は101,674,240,319円です。

組入上位ファンドの概要

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式
アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）（2018年12月1日から2019年11月30日まで）

■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年11月30日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下はクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）の状況です。

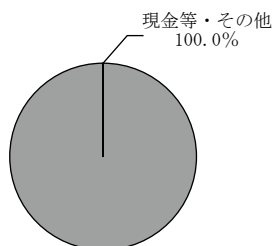
■ スワップ取引の状況

クラス	想定元本額	評価額	比率
シングル・アルファ・クラス	750,505,120円	157,380,924円	0.7%
ツイン・アルファ・クラス	264,234,352,430	23,992,479,201	99.3

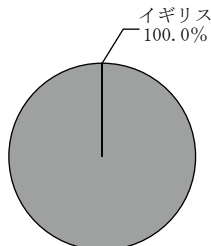
■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

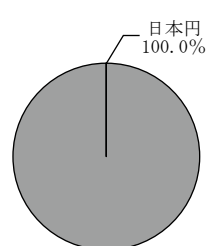
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) スワップ取引の状況および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。

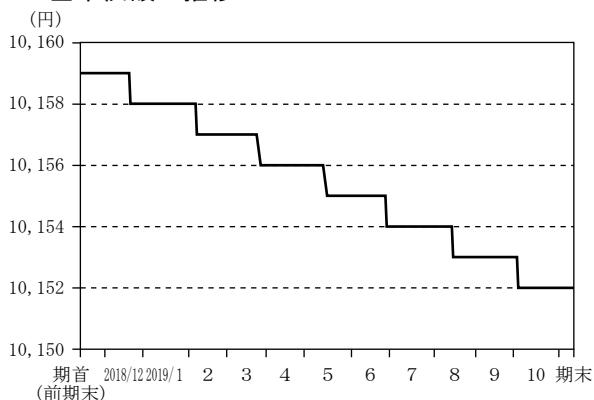
(注) スワップ取引の状況および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) スワップ取引および各配分はバンクオブニューヨークメロン証券およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

マネープールマザーファンド (2018年11月13日から2019年11月11日まで)

■ 基準価額の推移



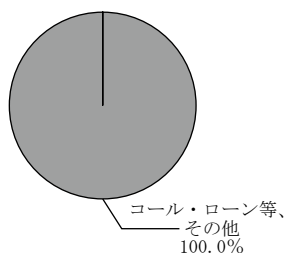
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

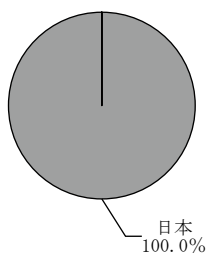
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2018/11/13～2019/11/11	
	金額	比率
平均基準価額	10,155円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.004% (0.004)
合計	0	0.004

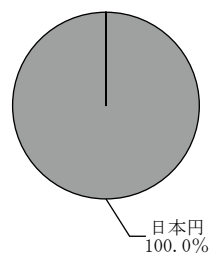
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。
 (注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注) 国別配分は発行国を表示しております。
 (注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。
 ※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）

東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。ＴＯＰＩＸに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

ＭＳＣＩコクサイ・インデックスはＭＳＣＩが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。

ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。

ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債

ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるＴ＆Ｄアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイドは、ＪＰモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はＪＰモルガン社に帰属します。



T&D保険グループ